

ソラマメ (露地)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露 地										○ △ ~ ◎ — ※ —		
主な作業				摘 収						播 低 本 移 主		
				芯 穫						種 温 團 植 枝		
										處 準 備 摘		
										理 備 芯		

技 術 体 系

1 作型の特徴

露地栽培は、種子の低温処理を行って開花期を早め、4月中旬～下旬から収穫する作型である。

2 適応地域

平坦地域

3 栽培条件

(1) 温度

低温により花芽分化するので、種子は低温処理が必要である。

種子の発芽適温は15～20℃で、10℃以下又は30℃以上になると発芽率が悪くなる。

生育適温の幅は狭く16～20℃とされ耐暑性は劣る。また、花芽分化後は-5℃で茎葉が枯死することがあり、特に花や幼莢は低温に弱く0℃以下になると落花、落莢や子実の生育不良をおこす。

(2) 土壤条件

土壤の適応範囲は広いが、耐乾性が劣るため、保水性の良いやや粘質土壤が向いている。火山灰土はリン酸の肥効が悪いため、事前に改良が必要である。

酸性土壤を嫌い、中性又は微アルカリ性土壤を好む。

4 施設装備

(1) 冷蔵庫

5 経営目標

(1) 収量

(2) 投下労働時間 580 時間/10a

(3) 所得率 55 %

(4) 経営規模 10a
(家族労働力2人の場合)

栽 培 技 術

1 品種と特性

「陵西一寸」

「ハウス陵西」

ハウス栽培参照

2 育 苗

(1) 播種量

本圃 10aあたり 7～8 ℥

(2) 催芽と低温処理

10月上旬頃おこなう。ソラマメは低温処理を行うことにより、開花節位を下げ、開花期を早める効果が高いので、必ず実行する。

欠株に対応するため 9cm ポリポット等に補植苗を準備する。

3 本圃の準備

植え付け1週間前にはマルチングまで終了しておく。

(1) 施肥量 (kg/10a)

	N	P ₂ O ₄	K ₂ O	備 考
基 肥	10	12	10	堆肥 2t 炭酸苦土石灰 120kg
追 肥	4	4	4	
全 量	14	16	14	

(2) 栽植様式

畦幅 120cm、株間 55cm(1,510 株/10a)を標準とする。

4 移植(定植)

移植の 1 週間前までにマルチングし、畦の中心より少し肩側に移植穴を開ける。

原則として移植は浅植えにする。

5 本圃の管理

(1) 整枝と誘引

整枝は 1 月頃行ない、基本的には 3 本仕立て、L 字誘引とする。最初は側枝を 4 ~ 5 本残し、2 月下旬頃 3 ~ 4 本に整枝する。

(2) 摘花と摘莢

1 節 1 莢を目標に行う。蕾の頃から 1 節 2 花を残し、着莢後 3 粒莢以上を残す。

(3) 追肥と灌水

追肥は、着莢確認後施用する。1 回あたりの追肥量は 10a 当たり窒素成分 2kg とする。ソラマメは水分が不足すると子実の肥大が劣るので春先の好天時は適宜に灌水する。(目安 : pH1.8 ~ 2.0)。

(4) 防寒対策

12 月中旬～圃場の周囲に防風ネットを設置し、防寒に努める。

5 収穫

過熟にならないよう適期収穫に努める。